

# きずな

## 小牧市民病院の理念

2019年4月から

- 1 安全で質の高い急性期医療を行います
- 2 恕の心で患者さんに寄り添う病院を目指します
- 3 医療を通じて、安心して暮らせる地域の実現に貢献します

発行者 / 小牧市常普請一丁目20番地 小牧市民病院 院長 谷口健次 TEL(0568)76-4131  
<http://www.komakihp.gr.jp/>



5月1日開院!



キミと一緒に、笑っていきなさい。  
**Komaki**

- ニュース ● 手術用ロボットダビンチ
- 特集 ● 緩和ケア病棟ボランティア
- 健康教室 ● メンタル不調～「うつ状態」とは
- 各科だより ● 放射線治療装置について
- 職場紹介 ● 栄養サポートチーム(NS T)
- 意見箱から ● 患者支援センター「外来待合用のイス」
- お知らせ ● 市民病院案内図 外来案内など

## 手術用ロボット ダビンチ

新病院の手術室には手術ロボット  
「ダビンチ」を導入します。

ダビンチはすでに、日本でも150台以上稼働していますし、医療ドラマでこの名を聞いた方も多いのではないのでしょうか？

ロボット手術というと何か近未来的イメージを持つかも知れませんが、機械が人工知能を持ち、またはプログラム通りに動くと言う訳ではありません。これは工作機械用のロボットと基本的に違うところです。手術用のロボットはもともと軍事目的に開発されました。発想は戦場の負傷者の手術を離れた場所から遠隔操作で行おうというものです。オペレーター（術者・執刀医）が画面を見ながら特殊なリングを指につけて動かすとその動きをまねて患者の手術場でロボットのアームが動いて手術を行います。術者とロボットのアームとの間の信号の受け渡しは導線でも無線でもいいので、遠隔地を無線回線で結んで手術をすることも可能です（実際、実験的な手術がニューヨークとストラスブールの間で行われ、ニューヨーク、パリ間無着陸飛行を行った人物にちなんでリンドバーグ手術と呼ばれました）。実際には戦場の兵士を手術する

のではないので遠隔操作の意義はあまりありません。しかし、ロボットの利点は狭い空間で行う腹腔鏡手術と組み合わせること

で威力を発揮できるのです。腹腔鏡は手術操作の為の大きな創を作ることなく炭酸ガスで腹部を膨らませマジックハンドのような鉗子を用いて臓器を切り分けていきます。このマジックハンドの使い方にはコツがあるのでありますが、これをロボットの手に代えることであたかも自分の指で直接臓器をさばくような感覚で手術することが出来ます。手ぶれ補正や、微妙な動きに追従するので腹腔鏡の鉗子でできない手術もロボットを使えば容易にできてしまいます。また通常の腹腔鏡は内視鏡の先についたレンズで腹腔内を写し取り、これをモニター画面で確認しながら行いますが、ロボットで用いる内視鏡は先に二つのレンズが付いており、ゴーグル型のモニターをのぞき込むことで疑似三次元の映像を見ることが可能です。これはあたかも自分が小さくなって人の体の中に入り込んで作業を進めていく感覚です。感覚と言いましたが実際には視覚はありますが触覚がありません。手術では触覚も重要な要素で、臓器を触ることで硬

いところと柔らかいところの境界で癌の病巣の広がりを知ったり、拍動を触れてその臓器の奥の血管の走行を知るのですが、これを視覚のみで補わなければいけないのが今のロボットの限界でもあります。この点については日本でも触覚も感じることが出来るロボットが開発中であり、将来はさらに進んだロボット医療が実現すると思われ



# 緩和ケア病棟ボランティア



・病棟内の生花の手入れや季節感のある飾りつけ作成・中庭の草木の手入れ

## 1. 病棟の環境づくり (毎日)

### 緩和ケア病棟の市民ボランティア活動内容

緩和ケア病棟では、病気を抱える患者さんやご家族のつらさ(苦痛)が和らぐことで「自分らしく安心して生活できる」ように、医師・看護師・薬剤師・心理士などの医療者だけでなく、市民ボランティアも一緒にチームを組んで支援しています。

今回は、緩和ケア病棟での市民ボランティアの活動についてご紹介します。

緩和ケア病棟では、「入院」という「非日常」の緊張した環境に「日常」を取り入れ、患者さんやご家族の気持ちがあせりでも和らぐように、四季折々の行事(クリスマスも餅つきもします)を看護師と市民ボランティアが協力して定期的に開催しています。また日々の活動として、病棟の家庭的な雰囲気づくりのために、病棟内の飾りつけや病棟中庭の草木の手入れなども行っています。

## 2. 患者さんやご家族へのおもてなし

・ティーサービス(平日毎日)  
市民ボランティアが大部屋まで伺い、ご希望に合わせた飲み物を提供する

・季節のスープサービス(月2回)  
病棟部長、シェフ、市民ボランティアが一緒にお部屋まで伺い、季節感のある旬の手作りスープを提供する



## 3. 季節の行事の開催支援 (定期的)

・イベント開催時の案内状の作成、飲み物やデザート提供

## 4. その他 (随時)

・患者さんやご家族の記念日をお祝いするカードの作成や喫茶時の患者さんとの交流など

日々のティーサービスや、スープサービスは、楽しみに待っている患者さんや、患者さんの気持ちがあせりや姿を目にするご家族にとって、大切な「日常」のひとつです。またボランティアコンサートなどの季節の

行事は、患者さんと一緒に多くのご家族が参加され、大切な「思い出」の場面となっています。このような患者さんやご家族の気持ちがあせりでも和らいだという体験は、大切な方が亡くなられご家族がご遺族となられた後でも、「とても大きな支えとなつている」と緩和ケア病棟にご挨拶にいらつしゃつたご遺族から伺うことも多いです。

患者さんやご家族にとって大切な時間を過ごされる緩和ケア病棟の環境づくりや行事の開催は、医療者だけの力では十分でなく、丁寧な対応や喜んでもらいたいという心遣いで「日常の風」を送り込んでくださる市民ボランティアの方々が大きな役割を担ってくださっています。

今回ご紹介させていただいた緩和ケア病棟での市民ボランティア活動を継続的に行っていくためにも、まだまだ多くボランティアを必要としています(現在登録ボランティア32名)。緩和ケア病棟でのボランティア活動への参加は、ボランティア養成講座を受けていただく必要があります。養成講座の募集要項は、毎年6月発行の小牧市広報内での告知や市内の公共施設、病院内での要項の配布および病院ホームページ上でのお知らせ等で情報提供を行いますので、詳細をご確認ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

# メンタル不調～ 「うつ状態」とは

精神疾患の代表、うつ病・うつ状態について、今回あらためてお伝えしたいと思います。近年は市民の皆様にとっても、身近で、会社の同僚や知人などが受診され、同時に「うつ」という言葉を聞く機会が多いと思いますが、どのようなものか、治療についても分かりにくいのでは、と想像いたします。

「うつ状態」は、抑うつ感・意欲低下・楽しみの喪失・死にたいという気持ちがある程度持続する状態像のことです。本来の診断名でなく、様々な疾患で見られます。代表的なものに以下のようなものがあり、それぞれごく簡単にまとめます。

1. (単極性) うつ病…性格的要素と関係すると思われる、責任感を多大にもち、自分を責める考え方で頭の中がいっぱいになってしまいます。休養と抗うつ薬は有効です。
2. 双極性情感障害(躁うつ病)…気分変動の振幅が大きく、活動的で明るい(明るすぎる)躁状態とうつ状態を示

します。薬物療法では、リチウムやバルプロ酸などを主に用います。

3. 持続性抑うつ障害(気分変調症)…少なくとも2年以上、抑うつ感と疲労感が続き、食欲低下や増加、不眠または過眠を伴います。薬物療法に認知行動療法を併せることが有効といわれます。
4. 統合失調症の慢性期「うつ」…基礎疾患が統合失調症のため、若い頃に妄想幻覚症状が明確にあった方で、治療後に意欲低下や元気のなさが目立つことがあります。

5. 発達障害圏の「二次的うつ」…自閉症スペクトラム、ADHD(注意欠如多動障害)などに伴う、学校や会社などへの不適応反応として表面化した抑うつ症状で、近年注目されています。
6. その他

認知症・不安障害・身体疾患に伴う「うつ状態」  
アルコール依存など依存症に伴う「うつ状態」など

躁うつ病では、患者さんは「うつ状態」の時、通常は「躁状態」の過去を自ら語らないため、単極性うつ病と誤診することがあり、注意を必要とします。場合によっては、その方の精神内面に対し、考え方の変化を待つべく、支え続けるなどの心理療法は有効です。

私は平成元年から医師になりましたが、精神科に対する敷居は本当に低くなったと感じます。また残念ながら治癒しにくく長期化する患者さんを認めることも事実です。どの疾患についても、看護師・心理士・その他医療関係者と連携し、十分に病歴を本人や家族・学校・職場から聴取し、また治療反応を見ながら診断します。なお、大変恐縮ですが、当院の常勤精神科医は一人で、入院及び副科依頼のみの対応としており、新規の外来受付はしておりませんのでご理解いただきますようお願い致します。

**放射線治療は高エネルギーの放射線をおこなうことによってがん細胞を死滅させ、その増殖を抑える治療法であり、手術、抗がん剤と並ぶがん治療の柱の一つです。**

**放射線治療の利点は、手術に比べ患者さんへの肉体的な負担が少なく、臓器をそのまま残し、その機能を温存できることです。**

**今回は放射線治療について、治療の進め方、治療に携わるスタッフや装置について紹介致します。**

### 放射線治療の進め方

放射線治療の実施が決まるとまず、治療を行う準備、計画を1〜7日程かけて行います。実際の治療時間は10〜15分程度ですが、より精度の高い治療では1時間程度かかるものもあります。放射線が照射されている間は痛い、熱いといったことは一切ありませんが動いたりすることはできません。

治療の期間は1週間程度の場合から2ヵ月程かかる場合と様々ですが、治療する部位や目的、患者さんの状態などによって決まります。治療期間にはお休みすることなく、スケジュールに沿って治療することで治療効果が高まります。

### 放射線治療に携わる人たちは

様々な専門の医療職種のスタッフがチームとなって治療を行っています。放射線治療専門医、診療放射線技師、看護師が協力し治療に当たります。放射線治療は治療が進むと、治療部位によってはつらい副作用が出ることもありますので、治療中、困っていることがあれば何でもスタッフにご相談ください。

### 放射線治療装置について

当院では新しくVARIAN社のTrue Beamという放射線治療装置を導入します。この装置では肺、乳房、前立腺、頭頸部など様々ながんを治療することができ、現在よりも更に正確に、より短時間で照射することが可能になります。また高精度放射線治療に適し、呼吸を同期することが可能になったりと治療の幅がひろがります。がんとの闘いにおける最前線をゆく装置であり、地域社会により高品質ながん治療技術を提供できるようになります。新しい装置による放射線治療の治療効果にもご期待ください。



放射線治療装置

Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.

# 栄養改善、治療効果に貢献

## ～栄養サポートチーム(NST)～

NST

職場紹介

NSTとはNutrition Support Teamの略で、職種の壁を越え、栄養サポートを実施する多職種からなるチームのことです。メンバーは医師、看護師、薬剤師、管理栄養士で構成されています。

栄養サポートとは、すべての疾患治療のうえで共通する基本的医療のひとつである栄養管理を、患者さんひとりひとりに合わせて適切に実施することです。一般的に栄養状態が悪い場合、手術や化学療法、放射線療法などの治療効果が低くなり、感染病や創傷治癒遅延などの合併症が起こりやすくなると言われています。

当院では2005年にNSTが立ち上がりました。現在では消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器内科の4チームでNSTの活動を行っています。NSTの活動内容としては、各チームが週に1度カンファレンスとNST回診を行い、抗がん剤治療に伴う吐き気、経腸栄養での下痢など患者さんの栄養上の問題を解決するよう主治医にアドバイスしています。また、2か月に1度開催されるNST勉強会では、院内の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士に

講師を依頼し、院内メンバーだけではなく、院外の医療機関と共に知識の向上と地域の連携に努めています。

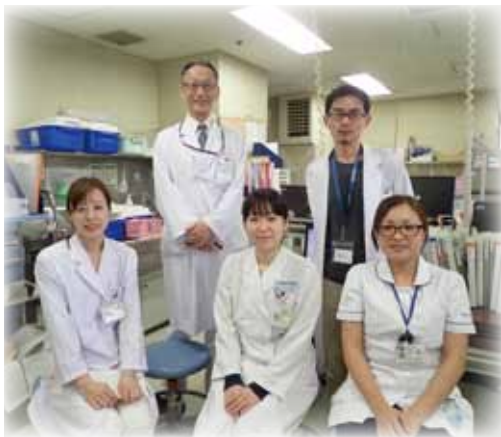
今後はさらに診療科の幅を広げ、より多くの患者さんの栄養管理をしていきたいと



消化器外科チーム



整形外科チーム



脳神経外科チーム



呼吸器内科チーム

思います。NSTでは、皆様が栄養をもっと身近に感じていただけるよう取り組んでまいりますので、今後どうぞよろしくお願ひ致します。

当院では、意見箱を設置し、来院者の方からのご意見、ご要望に対してできる限りお応えできるよう努めています。そこで、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介させていただきます。

## 《いただいたご意見》

お世話になります。

外来の待合用のイスの高さが低く、膝の悪い患者には、立ち上がる時に苦痛です。一部高めのイスもありますが、放射線科の前のイスは特に高齢者に配慮されていない。

新病院では、配慮をお願いしたい。



## 《ご意見に対するお答え》

病院総務課

この度は、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

当院の待合に設置しているイスにつきましては、座面が35cm程度のイスを設置しております。

平成31年5月に開院予定の新病院では、座面を43cmと8cm高いイスを設置する予定です。

また、産婦人科や整形外科などの特性に応じて、一部特殊な形状のイスを設置する予定です。

今後も、来院者の方への環境整備に努めてまいります。

## お知らせ

当院では、ご入院の患者さんの利便性の向上のため、「寝巻・タオル・日用品セット・紙おむつ」のレンタルサービスを導入いたしました。

タイプ	ご利用内容	利用料金
A	●寝巻 ●タオル類 ●日用品セット	1日あたり416円
B	●紙おむつ[1日中使用の方]	1日あたり400円
C	●紙おむつ[リハビリ程度使用の方]	1日あたり302円

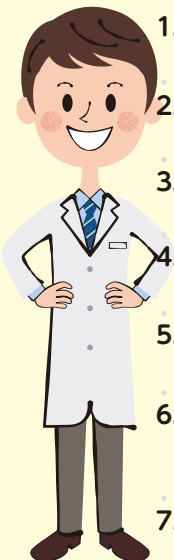
※日用品セットは、シャンプー、ボディソープ、ティッシュ、コップ、箸、歯ブラシ等

※従来の病衣については貸出しを廃止いたします。

※詳しくはスタッフまでお問合せください。

## 小牧市民病院の基本方針

2019年4月から



### 1. 医療の質の向上

職員は自らの専門性を高めつつ、安全で質の高い医療を追求します。

### 2. 患者本位の医療の実践

「恕」の心で患者さんの立場に立った思いやりのある医療を行います。

### 3. チーム医療の強化

コミュニケーションを良好にし、患者さんを中心としたチーム医療を推進します。

### 4. 医療人の育成

働きがいのある病院づくりに努め、地域医療を支える優れた医療人を育成します。

### 5. 地域社会への貢献

急性期医療を担う中核病院として、地域社会のニーズに応える病院事業を推進します。

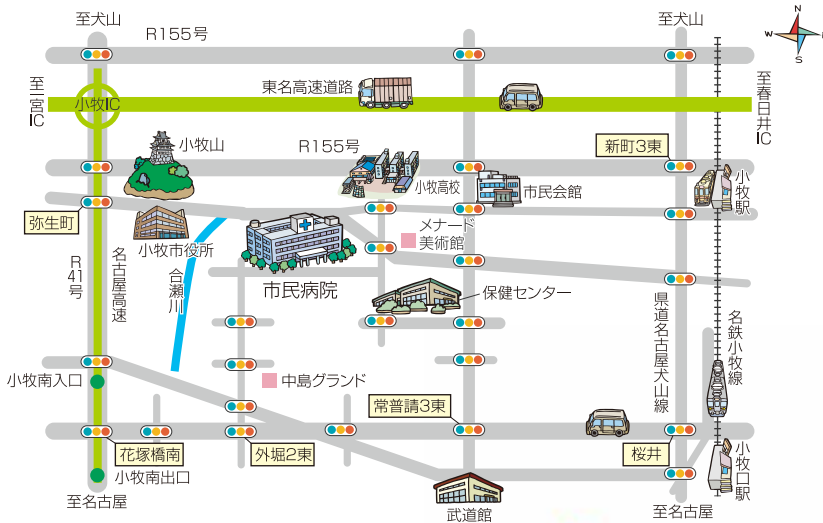
### 6. 地域医療連携の推進

地域完結型医療に向けて、地域の医療機関との役割分担・連携を推進し、地域の医療水準の向上を目指します。

### 7. 健全な経営

医療情勢の変化に対応し、安定した経営基盤の確立を目指します。

## 市民病院案内図



- 名鉄小牧駅から徒歩15分
- 名鉄小牧駅から岩倉駅行きバスで小牧市民病院前または小牧市民病院北下車3分
- 東名・名神高速道路小牧インターから車で5分
- 名古屋高速11号小牧線小牧南出口から車で5分

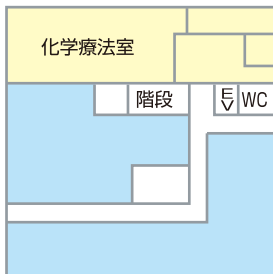
### ■ 有料駐車場料金

8時間までは100円  
 8時間を超えると1,000円加算  
 以降8時間を超えると1,000円加算

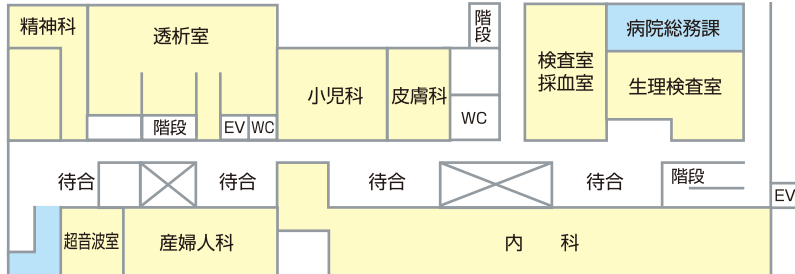


## 外来案内

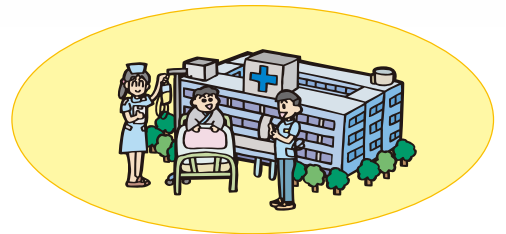
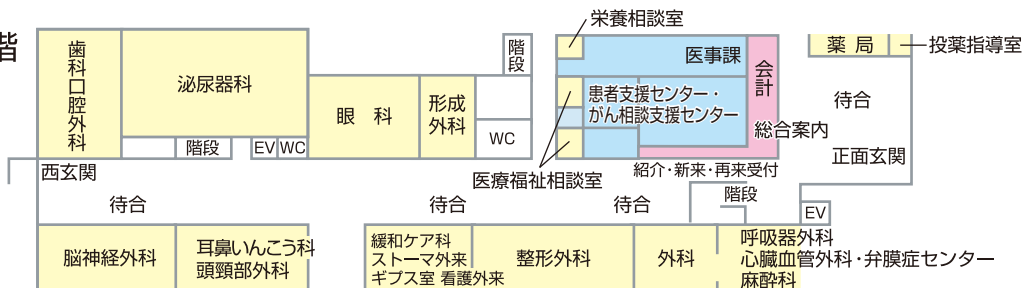
3階



2階



1階



### 〈診療受付時間〉

午前8時30分～午前11時30分

### 〈診療時間〉

午前9時～午後5時

### 〈休診日〉

土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

※急患の方は、救命救急センターで随時診療